

中高年引きこもり「8050問題」 県内支援ネット設立

かごしま8050ネットワーク設立総会



引きこもりの子が50代、親が80代となった「8050問題」を解消しようと、鹿児島市で22日、支援団体が設立された。「かごしま8050ネットワーク」と名付け、公的制度や民間サービスの紹介、訪問や電話による相談を行う。関係者は「どんな相談でもしてほしい」と呼び掛ける。事務局 0994（3

7）5639。

同日の設立総会には、就労支援事業に携わる人や教員、行政職員など「産学官民」から約40人が出席。打診中の代表以外の役員を決めた。今後、各自の専門性を生かし、連携して活動が続けていく。

ネットワークによると、県内の40歳以上で引きこもり状態の人は

8050ネットワーク設立総会であいさつする副代表の谷川勝彦さん。22日、鹿児島市のかごしま市民福祉プラザ

8千人以上。支援者側の育成や支援も課題となっているという。

副代表の谷川勝彦さん(43)は「困った人や孤立している人に寄り添い、よりよい人生を歩むきっかけになれば」。事務局長の大倉一真さん(44)は「家族で抱え込むのではなく、まずは電話をしてもらえば」と呼び掛けた。

(中 咲 貴 穂)